

## オプトアウト

「肺葉切除術後脳梗塞の予防を目的とした肺静脈切除断端中枢側結紮の臨床的検討」  
ご協力をお願い

肺癌の標準術式は肺葉切除術で、比較的多くの患者様に受けていただいておりますが、肺葉切除術後脳梗塞は0.5-3%に発症する重篤な合併症が挙げられます。

肺静脈断端に血栓形成を引き起こすことが脳梗塞発症の危険因子とされており、その原因として肺静脈断端が長いことに加え、血液とステープル断端の接触もあげられています。そこで当院では切除断端短縮とステープルと血液の接触防止を目的に肺静脈切除断端中枢側の結紮を行っています。

結紮の効果を明らかにすることで、術後脳梗塞の発症を予防できる可能性があります。

### 実施施設および担当医

京都第一赤十字病院 呼吸器外科 上島康生（責任研究医師）

京都第一赤十字病院 呼吸器外科 西村友樹（分担研究医師）

### 研究の方法

当院呼吸器外科で肺葉切除術を受けていただいた患者様で2010年1月から2023年3月に登録された患者様を対象とします。解析期間は倫理委員会承認日より2023年12月31日とします。

以下の項目が解析対象となります。

年齢、性別、BMI、喫煙歴、ADL、肺癌の病理病期、組織型、既往歴（5年以内の他の癌に対する治療歴、CKD、血管疾患、肥大型心筋症、心不全、高血圧症、糖尿病、脳梗塞、脳出血、心房細動の有無）、術前抗凝固薬内服の有無、アプローチ、手術時間、出血量、術後心房細動の有無、エアリークの遷延、術後肺静脈断端の血栓形成の有無、脳梗塞発症の有無

本研究の対象患者様のデータを、特定のフォーマット（パスワード付きエクセルファイル）で一括して管理しデータの解析は京都第一赤十字病院呼吸器外科で行います。情報は院内で厳重に管理され、第三者への提供は致しません。本研究の結果は個人情報保護に十分な配慮を行った形で学会発表、医学論文として公表する予定です。

### 患者様の利益、不利益および同意取得

本研究では、通常の診療情報の解析のみを行うもので、患者様への利益も不利益も生じません。研究の結果は時に致命的となり得る肺葉切除術後脳梗塞発症を術中に肺静脈切除断端中

枢側を絹糸で結紮するという簡便かつ安価に施行できる手技で予防できる可能性があり、今後の皆さんの治療に生かされる可能性があります。

本研究への参加に関しては本掲示を持って文書同意に代えますが、同意いただけない場合は研究データへの組み入れを取り消します。下記までご連絡ください。

問い合わせ窓口

〒605-0981 京都市東山区本町15丁目749番地

京都第一赤十字病院 呼吸器外科

電話 075-561-1121(代表) Fax 075-561-6308

責任研究医師 上島康生